

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		事業系ごみの排出指導				所管	環境清掃部 台東清掃事務所	
事務事業の概要	行政計画	あり	事業NO.	99	計画事業名	事業系ごみの排出指導		
	長期総合計画体系	[基本目標] II-2. うるおいのある生活環境づくり					事業の開始・終了年度	
		[小 柱] (2)資源循環型地域づくりの推進					[事業開始] 平成 1 2 年度	
		[施策] ① ごみの発生抑制[38]					[終了予定] - 年度	
	根拠法令等	条例・規則		[法令等名]	東京都台東区廃棄物の処理及び再利用に関する条例			
	事業対象	1,000㎡以上の事業用大規模建築物の所有者及び廃棄物管理責任者						
	事業目的	事業用大規模建築物に対して区が立入指導等を行うことにより、事業系ごみの減量・資源化及び適正処理の推進を図る。						
	事業内容	・1,000㎡以上の事業用大規模建築物の所有者から「再利用計画書」「廃棄物管理責任者届」を受理する。 ・事業用大規模建築物に対して、3年に1回程度の立入指導を行う。 ・廃棄物管理責任者等を対象に、ごみの減量・資源化・適正処理に関する講習会を実施する。						
委託の有無	なし		委託内容					
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)			目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度
	活動指標	立入指導件数 件			100	95	54	94
		廃棄物管理責任者講習会の実施回数 回			3	2	3	3
	成果指標	再利用計画書提出率 %			100	83.8	71.7	73.4
	決算額 (単位：千円)					354	661	273
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)				154,005	147,422	150,284
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)				355	661	274
		その他のコスト (扶助費・補助費など)				0	0	0
		総経費				154,360	148,083	150,558
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)				0	0	0
		その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)				0	0	0
一般財源 (区負担額)				154,360	148,083	150,558		
前年度から改善した事項		24年度は、戸別収集の実施準備等に重点的に取り組んだため、立入指導件数が少なくなっているが、25年度は、計画的に立入指導を実施し、通常の件数を確保した。						
評価の視点		評価	評価の理由					
	必要性	3	台東区から排出されるごみを減らしていくためには、ごみの約7割を占める事業系ごみの減量・資源化を推進していくことが不可欠である。					
	効率性	3	ごみの適正処理を最も熟知している区職員が立入指導や講習会を実施しているため、啓発効果が高く経費も最小限となっている。					
	手段の適切性	4	事業用大規模建築物から排出されるごみの減量・資源化・適正処理を確保するためには、区職員による立入指導や廃棄物管理責任者への意識啓発が最も効果的である。 また、戸別収集の拡大に伴い、通常の収集業務の中で事業者への排出指導を強化している。					
	目的達成度	2	対象建築物477件のうち、350件の再利用計画書が提出された。未提出の事業者に対しては電話や文書で督促するとともに、立入指導を行うなどの対応を図った。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了
引き続き、事業系ごみの減量・資源化・適正処理を推進していくために、立入指導や講習会を通じて廃棄物管理責任者の意識啓発に努めるとともに、ごみ収集時におけるきめ細かな排出指導を行う。							維持	